

野村北米REIT投信（マネープールファンド） 年2回決算型

償還運用報告書(全体版)

第20期（償還日2019年9月17日）

作成対象期間（2019年3月16日～2019年9月17日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行い、償還価額が決定いたしました。
ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2009年10月21日から2019年9月17日までです。	
運用方針	野村マネーマーケット マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として本邦通貨表示の短期有価証券に投資し、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。	
主な投資対象	野村北米REIT投信 （マネープールファンド） 年2回決算型	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村北米REIT投信 （マネープールファンド） 年2回決算型	株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債を転換したもの等に限るものとし、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建て資産への投資は行いません。
	マザーファンド	株式への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 込 分	み 金 騰 落	中 率			
	円 銭	円		%	%	%	百万円
16期(2017年9月15日)	10,011	0		△0.0	68.0	—	6
17期(2018年3月15日)	10,010	0		△0.0	63.4	—	6
18期(2018年9月18日)	10,007	0		△0.0	52.8	—	6
19期(2019年3月15日)	10,004	0		△0.0	39.7	—	6
(償還時)	(償還価額)						
20期(2019年9月17日)	10,001.96	—		△0.0	—	—	6

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドは一時的に待機資金をプールしておくことを目的としたファンドであり、該当するベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰 落	率			
(期 首)	円 銭		%	%	%	%
2019年3月15日	10,004		—	39.7	—	—
3月末	10,004		0.0	39.7	—	—
4月末	10,003		△0.0	53.0	—	—
5月末	10,003		△0.0	52.9	—	—
6月末	10,003		△0.0	39.7	—	—
7月末	10,003		△0.0	26.5	—	—
8月末	10,003		△0.0	13.3	—	—
(償還時)	(償還価額)					
2019年9月17日	10,001.96		△0.0	—	—	—

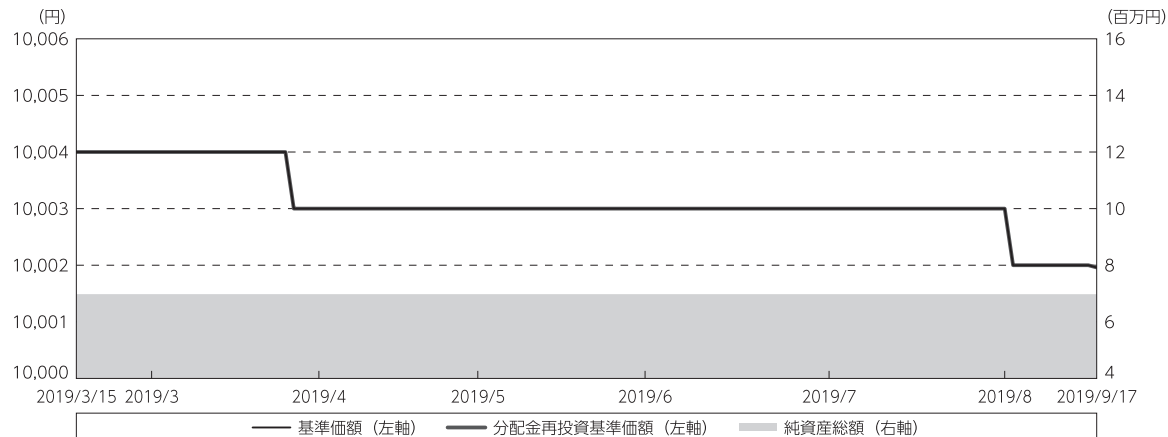
*騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首： 10,004円

期末(償還日)：10,001円96銭 (既払分配金(税込み)：－円)

騰落率： △ 0.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2019年3月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

実質的に投資している短期有価証券等からの受取利息及びマイナス金利環境を要因とする支払利息

○投資環境

国内経済は、海外経済の減速により輸出や生産に弱さが続いているものの、基調としては緩やかに拡大しました。

このような中、日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、2019年4月には「政策金利のフォワードガイダンス」をより明確に示すため、少なくとも2020年春頃まで現在の極めて低い長短金利の水準を維持することとしました。

マイナス金利政策のもと、T-Bill（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは-0.1%台で推移、また、無担保コール翌日物金利は概ね-0.06～-0.07%程度で推移しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村北米REIT投信（マネープールファンド）年2回決算型]

主要な投資対象である[野村マネーマーケット マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。9月に償還対応で[野村マネーマーケット マザーファンド]の全売却を行いました。

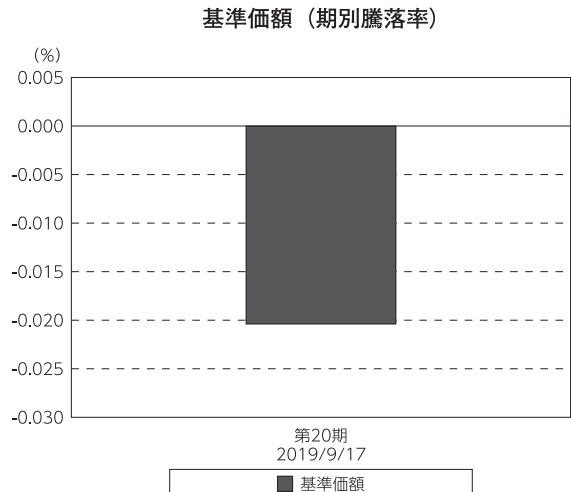
[野村マネーマーケット マザーファンド]

残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは一時的に待機資金をプールしておくことを目的としたファンドであり、該当するベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

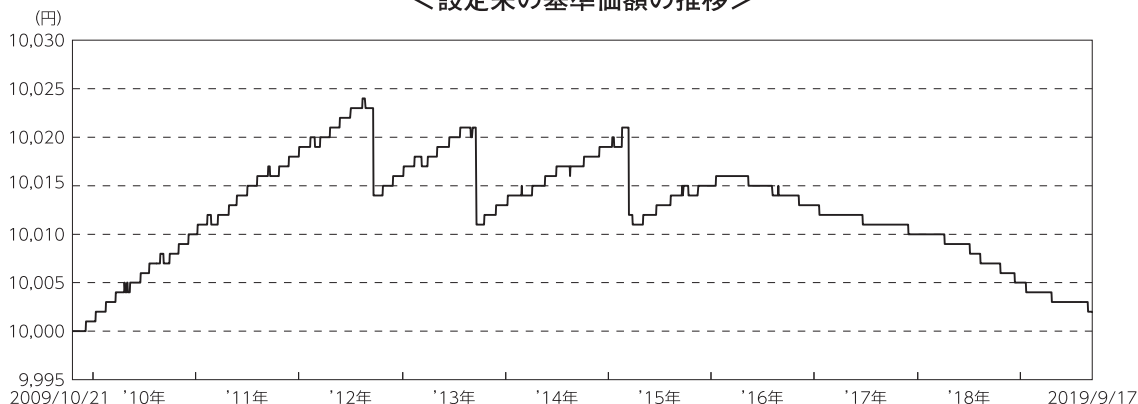


◎分配金

償還のため分配は行いませんでした。

◎設定来の運用経過

＜設定来の基準価額の推移＞



○基準価額の推移

基準価額は、設定時の10,000円から償還時には10,001.96円となりました。設定来では、1万口当たり合計30円の分配金をお支払いいたしました。

○基準価額の主な変動要因

実質的に投資している短期有価証券等からの受取利息及びマイナス金利環境を要因とする支払利息

○分配金

設定以来、収益分配金については、各期毎の配当収入、信託報酬などの諸経費を勘案して分配を行いました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いました。

設定来では、1万口当たり合計30円の分配金をお支払いいたしました。

※マイナス利回りの資産への投資等を通じてファンド全体の損益がマイナスとなった場合は、ファンドの基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年3月16日～2019年9月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 0	% 0.001	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(0)	(0.000)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(0)	(0.000)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.000)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
合 計	0	0.001	
期中の平均基準価額は、10,003円です。			

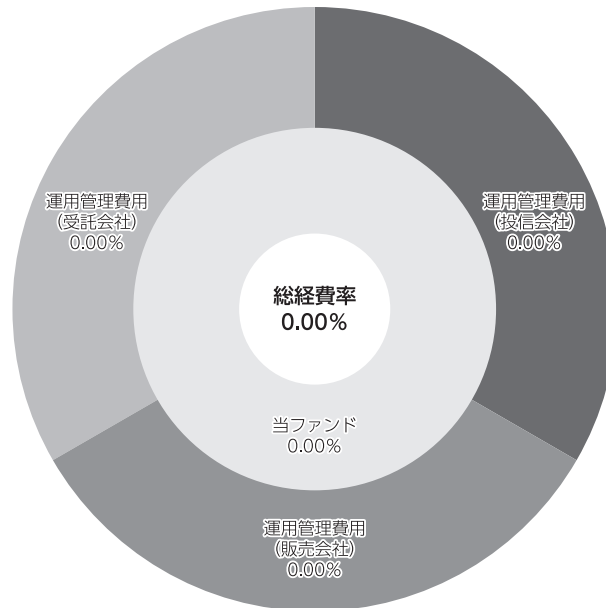
* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)○**総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.00%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年3月16日～2019年9月17日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村マネーマーケット マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 6,814	千円 6,844

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年3月16日～2019年9月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年9月17日現在)

2019年9月17日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	
	口 数	金 額
野村マネーマーケット マザーファンド	千口 6,814	

*単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年9月17日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 6,976	% 100.0
投資信託財産総額	6,976	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2019年9月17日現在）

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	6,976,657
コール・ローン等	6,976,657
(B) 負債	15
未払信託報酬	3
未払利息	12
(C) 純資産総額(A-B)	6,976,642
元本	6,975,273
償還差益金	1,369
(D) 受益権総口数	6,975,273口
1万口当たり償還価額(C/D)	10,001円96銭

(注) 期首元本額は6,975,273円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円、1口当たり純資産額は1.000196円です。

○損益の状況（2019年3月16日～2019年9月17日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 48
支払利息	△ 48
(B) 有価証券売買損益	△ 1,363
売買損	△ 1,363
(C) 信託報酬等	△ 3
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,414
(E) 前期繰越損益金	△ 6,016
(F) 追加信託差損益金	8,799
(配当等相当額)	(71,341)
(売買損益相当額)	(△62,542)
償還差益金(D+E+F)	1,369

* 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2009年10月21日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2019年9月17日		資産総額	6,976,657円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	15円
受益権口数	100,000口	6,975,273口	6,875,273口	純資産総額	6,976,642円
元本額	100,000円	6,975,273円	6,875,273円	受益権口数	6,975,273口
				1万円当たり償還金	10,001円96銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	84,671,099円	84,695,098円	10,003円	0円	0.0%
第2期	95,721,468	95,792,818	10,007	0	0.0
第3期	70,311,687	70,391,809	10,011	0	0.0
第4期	52,085,661	52,171,714	10,017	0	0.0
第5期	56,233,970	56,343,137	10,019	0	0.0
第6期	45,444,676	45,510,440	10,014	10	0.1
第7期	44,705,478	44,783,543	10,017	0	0.0
第8期	48,310,191	48,365,202	10,011	10	0.1
第9期	52,191,964	52,267,212	10,014	0	0.0
第10期	49,334,201	49,419,484	10,017	0	0.0
第11期	9,537,498	9,548,517	10,012	10	0.1
第12期	5,628,541	5,636,241	10,014	0	0.0
第13期	5,541,952	5,550,651	10,016	0	0.0
第14期	5,136,554	5,143,598	10,014	0	0.0
第15期	5,136,554	5,142,595	10,012	0	0.0
第16期	6,975,273	6,982,835	10,011	0	0.0
第17期	6,975,536	6,982,410	10,010	0	0.0
第18期	6,975,536	6,980,366	10,007	0	0.0
第19期	6,975,273	6,978,056	10,004	0	0.0

○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	10,001円96銭
----------------	------------

○お知らせ

該当事項はございません。

野村マネーマーケット マザーファンド

運用報告書

第10期（決算日2019年9月17日）

作成対象期間（2018年9月19日～2019年9月17日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とし、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建て資産への投資は行いません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		騰	落			
6期(2015年9月15日)	円 10,055		% 0.1	% 58.1	% -	百万円 276
7期(2016年9月15日)	10,056		0.0	45.0	-	275
8期(2017年9月15日)	10,053		△0.0	69.2	-	266
9期(2018年9月18日)	10,049		△0.0	53.8	-	74
10期(2019年9月17日)	10,044		△0.0	14.9	-	67

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

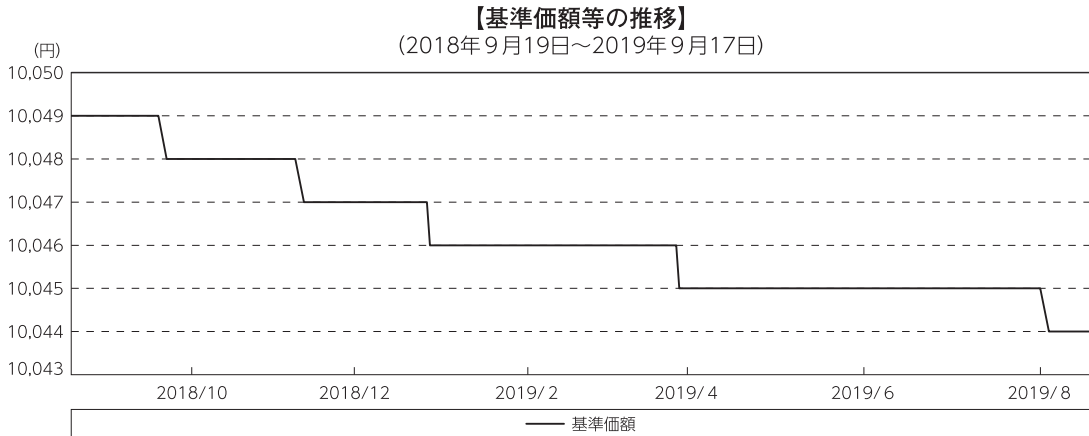
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率
		騰	落		
(期首) 2018年9月18日	円 10,049		% -	% 53.8	% -
9月末	10,049		0.0	53.8	-
10月末	10,048		△0.0	27.0	-
11月末	10,048		△0.0	27.0	-
12月末	10,047		△0.0	40.5	-
2019年1月末	10,046		△0.0	40.5	-
2月末	10,046		△0.0	40.5	-
3月末	10,046		△0.0	40.4	-
4月末	10,045		△0.0	54.0	-
5月末	10,045		△0.0	53.9	-
6月末	10,045		△0.0	40.4	-
7月末	10,045		△0.0	27.0	-
8月末	10,045		△0.0	13.5	-
(期末) 2019年9月17日	10,044		△0.0	14.9	-

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券やコール・ローンなどのマイナス金利環境を要因とする支払利息等。

○投資環境

国内経済は、高水準にある企業収益や雇用・所得環境の改善継続等を背景に、緩やかな回復基調が続いたものの、海外経済の減速から輸出や生産に弱含みの動きもみられました。

このような中、日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、2019年4月には「政策金利のフォワードガイダンス」をより明確に示すため、少なくとも2020年春頃まで現在のきわめて低い長短金利の水準を維持することとしました。

マイナス金利政策のもと、T-Bill（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは、2018年10月以降、良好な円調達環境を受け海外投資家等に買い進まれ-0.3%台まで低下、その後期末にかけては-0.1%台まで上昇しました。また、無担保コール翌日物金利は期を通して概ね-0.06～-0.07%程度で推移しました。

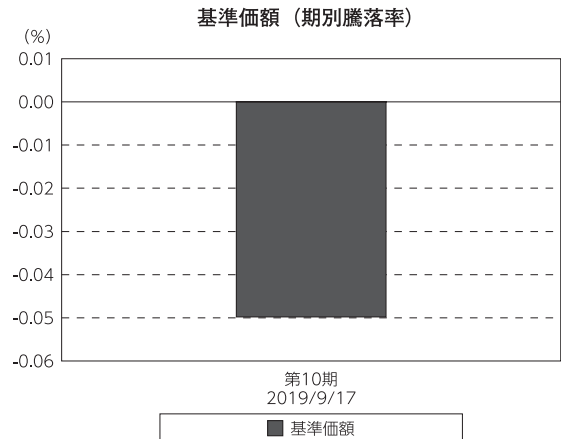
○当ファンドのポートフォリオ

残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2018年9月19日～2019年9月17日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2018年9月19日～2019年9月17日)

公社債

		買付額	売付額
国内		千円	千円
	国債証券	130,037	130,037
	特殊債券	30,301	—
			(60,000)

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

* () 内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2018年9月19日～2019年9月17日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
公社債	百万円 10	百万円 30	33.3	百万円 —	百万円 —	—

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社です。

○組入資産の明細

(2019年9月17日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特殊債券 (除く金融債)	10,000 (10,000)	10,062 (10,062)	14.9 (14.9)	— (—)	— (—)	— (—)	14.9 (14.9)
合 計	10,000 (10,000)	10,062 (10,062)	14.9 (14.9)	— (—)	— (—)	— (—)	14.9 (14.9)

* ()内は非上場債で内書きです。

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
特殊債券(除く金融債)	%	千円	千円		
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第100回	1.4	10,000	10,062	2020/2/28	
合 計		10,000	10,062		

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年9月17日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 10,062	% 14.9
コール・ローン等、その他	57,530	85.1
投資信託財産総額	67,592	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年9月17日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	67,592,692
コール・ローン等	57,507,722
公社債(評価額)	10,062,373
未収利息	22,597
(B) 負債	98
未払利息	98
(C) 純資産総額(A-B)	67,592,594
元本	67,294,164
次期繰越損益金	298,430
(D) 受益権総口数	67,294,164口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,044円

(注) 期首元本額は74,140,535円、期中追加設定元本額は117,965円、期中一部解約元本額は6,964,336円、1口当たり純資産額は1.0044円です。

○損益の状況 (2018年9月19日～2019年9月17日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	277,778
受取利息	307,424
支払利息	△ 29,646
(B) 有価証券売買損益	△312,379
売買損	△312,379
(C) 当期損益金(A+B)	△ 34,601
(D) 前期繰越損益金	363,155
(E) 追加信託差損益金	549
(F) 解約差損益金	△ 30,673
(G) 計(C+D+E+F)	298,430
次期繰越損益金(G)	298,430

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村北米REIT投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	26,076,177
アジア・プラス(アジア通貨戦略コース)	9,997,332
アジア・プラス(マネープールファンド)	9,829,140
野村北米REIT投信(豪ドルコース)毎月分配型	7,304,915
野村北米REIT投信(円コース)毎月分配型	6,330,625
野村北米REIT投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	1,594,426
野村北米REIT投信(円コース)年2回決算型	1,401,832
アジア・プラス(円コース)	996,314
USバンクローンファンド・為替ヘッジあり(毎月分配型)	995,521
USバンクローンファンド・為替ヘッジなし(毎月分配型)	995,521

ファンド名	当期末
	元本額
	円
USバンクローンファンド・為替ヘッジなし(年2回決算型)	995,521
野村北米REIT投信(豪ドルコース)年2回決算型	507,609
野村北米REIT投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	116,655
USバンクローンファンド・為替ヘッジあり(年2回決算型)	99,553
野村北米REIT投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	13,203
野村北米REIT投信(米ドルコース)毎月分配型	9,955
野村北米REIT投信(メキシコペソコース)毎月分配型	9,955
野村北米REIT投信(米ドルコース)年2回決算型	9,955
野村北米REIT投信(メキシコペソコース)年2回決算型	9,955

○お知らせ

該当事項はございません。